

うえだ としお
上田敏雄防府市
(1900～1982)

上田敏雄は詩人。吉敷郡大道村（現・防府市大道）生まれ。慶應大学英文科在学中の大正十四年、萩原朔太郎から『日本詩人』新進詩人号に推薦され詩壇に登場。慶應ではレスプリ・ヌウボウ詩人西脇順三郎教授の影響を受ける。超現実主義詩人の旗手、ネオ・ダダイストとして、昭和三年一月、日本における最初のシュールレアリスム宣言を、上田保、北園克衛と『薔薇・魔術・學説』に発表。昭和二十年三月、郷里の大道村に疎開し、そのまま定住。晩年まで孤高の前衛芸術主義者として、独自のネオ・超現実主義詩論を展開した。詩集『仮説の運動』『薔薇物語』がある。

（森川信夫）

【主な著作】

『仮説の運動』（厚生閣書店、昭和4年）

『薔薇物語』（昭森社、昭和41年）

『現代詩の歩み』（共著、宝文館、昭和27年）